

白杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	課名 消防本部警防課
-----------	---------------

コード	VII-21-49	施策名	救急体制・消防力の充実
まちづくりの 目標	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)	施策の方針	安心安全な暮らしを支える
5年後の めざす姿	幼少期から火災の怖さや命の大切さについて学び、防火意識の向上、応急手当の普及、救急車の適正な利用につなげます。消防施設などを活用した訓練や研修により消防職員・消防団員の現場活動対応能力の向上をめざします。		
施策の課題	救急業務では感染症や熱中症への対応など、医療機関との連携をさらに推進する必要がある。その一方で講習会を通じた市民との連携はコロナ禍を経て回復傾向にある。火災については、八町大路火災を通じて、住宅密集地火災の脅威を改めて認識した。この経験を踏まえ、住宅防火対策の強化が必要である。消防団員の確保については、全国的に苦慮しており、関係機関と連携した取り組みを強化する必要がある。		

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画 >

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	火災、救急、救助訓練の実施回数(年間)	各年度における訓練実施回数	目標	回	110	120	130	140	150	
			実績	回	134	243	250	260	250	250
			達成率	%		220.9%	208.3%	200.0%	178.6%	166.7%
	救急車の現場到着時間の短縮	救急年報	目標	分	7.7	7.6	7.5	7.4	7.3	
			実績	分	8.3	8.0	8.3	8.0	8.8	9.0
			達成率	%		96.3%	91.6%	93.8%	118.9%	123.3%
	火災発生件数(年間)	火災年報	目標	件	14	14	14	14	14	
			実績	件	21	15	18	19	13	12
			達成率	%		93.3%	77.8%	73.7%	107.7%	116.7%
	消防団協力事業所認定数【累計】	消防団協力事業所の認定数	目標	件	15	17	19	21	22	
			実績	件	13	15	17	19	20	22
			達成率	%		100.0%	100.0%	100.0%	95.2%	100.0%
	救急救命士資格の取得人数	救急救命士資格取得者数	目標	人	23	24	25	26	27	
			実績	人	22	24	25	28	29	30
			達成率	%		104.3%	104.2%	112.0%	111.5%	111.1%
	学校や地域における救急救命講習会への参加者数	救急救命講習会の年間受講者数	目標	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
			実績	人	2,094	636	839	427	1,566	1,686
			達成率	%		42.4%	55.9%	28.5%	104.4%	112.4%
	安心安全お届けサービスの実施件数【累計】	安心安全お届けサービスの実施件数の累計(野津地域のみ)	目標	件	3,620	3,730	3,860	3,980	4,100	
			実績	件	3,504	3,541	3,582	3,669	3,789	3,917
			達成率	%		97.8%	96.0%	95.1%	95.2%	95.5%
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災・救急・救助の年間訓練については、組織的かつ計画的に十分な訓練を行うことができた。今後も若手職員への知識と技術の継承を行っていく。</li> <li>・救急車の現場到着時間については延伸傾向にあり、DX等を活用した取り組みが望まれる。</li> <li>・救急救命士の育成については、人数的には増えてきたが、実動救命士の数はまだ不足している。</li> <li>・火災件数は減少傾向にあり、火災予防広報等が功を奏していると考えられる。</li> <li>・消防団員の確保については、地域の方や事業所に呼びかけを行い、団員募集を継続していく。</li> <li>・安心安全お届け訪問については、様々な理由により対面の実施が難しくなっており、違う方法でのアプローチを考慮する。</li> </ul>							

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	満足度
向上領域	2.65	2.19	2.19
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	86.98%
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	向上領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	救急出動業務	応答時間(覚知から現場到着までの時間)	警防課		—	無				
2	救急救命士養成業務	救急救命士を養成し、救急体制強化を図ります。	警防課	2,544	2,492	無				
3	普通救命講習事業	市民への応急手当の普及	警防課		—	無				○
4	無火災事業	広報車による防火広報・避難訓練及び防火講話を行い、火災件数の削減を図ります。	予防課		—	無				○
5	消防団加入促進事業	自治会や各事業所の協力を得て、団員を確保します。	総務課		—	無				○
6	安心安全お届けサービス事業	高齢者世帯を訪問し、防火啓発及び促進を行います。	野津分署		—	無				○
7										
8										
9										
10										
合計				2,544	2,492	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する  
○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る

○ 強化… 現状より強化を図る  
○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
向上	全国的に災害が複雑化頻発化しており、市民の安全安心に対する施策へのニーズが年々高くなっていると感じる。今後も救急体制・消防力の更なる取り組みの強化が必要である。火災・救急・救助等の訓練における災害への備えは強化されつつある。各指標の目標値を意識しつつ、計画的な取り組みが重要である。消防団員の確保など困難な課題もあるが、関係機関と連携し着実に実績値を積み上げていく。